君津中央病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究
当院の研究責任者 (所属)	北村伸哉 君津中央病院救命救急センター
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	研究代表者：佐賀大学医学部救急医学講座 教授 阪本雄一郎 共同研究機関：2024年11月1日現在で303施設
本研究の目的	重症患者さんに行っている診療とその結果に関する情報を、日本救急医学会と日本外傷学会が日本外傷データバンクとして全国規模で広く集積することで、各施設における外傷診療のデータを全国データと比較することにより各参加施設における診療の現状を明らかにし、診療の質向上に寄与することを目的とします。さらに、集積された全国データを分析することで、どの診療行為が予後を改善し得るか明らかにすること、診断精度の向上、予後予測指標の作成などの研究を実施することによって、本邦全体の外傷診療システム向上に寄与することを併せて目的としています。
調査データの 該当期間	実施許可日～2026年3月31日
研究の方法 (対象となる方)	重症外傷（6段階の重症度スコアで3以上）を有する患者様
研究の方法 (使用する情報)	年齢、性別、受傷日時、受傷原因、受傷現場および病院到着時のバイタルサインおよび処置、既往歴、検査所見、救命処置、輸血の有無、手術の有無、診断名、合併症、入退院情報（入院先、入院日数、退院先、死亡）などです。
資料・情報の他機関 への提供	収集した匿名化データは学術的研究施設（海外を含む）に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表します。日本外傷データバンクはデータベース用のサーバー管理を、プライバシーマーク取得業者（バース・ビュー社）へ委託しています。受託業者は適切にデータベースおよびデータを管理する旨を契約書に記載し、データ取扱いについて適宜日本救急医学会と日本外傷データバンクが監督しています。
個人情報の取扱い	個人が特定できる情報（氏名、住所、生年月日など）は除外した形でデータ収集を行います。データの紛失、改ざん、漏えいなどを防ぐために、データベースへのアクセスはIDとパスワードにより適切に管理しています。

本研究の資金源 (利益相反)	利益相反はありません。
お問い合わせ先	君津中央病院救命救急センター 北村伸哉 0438-36-1071
備考	